



# ためしまる

久留米市田主丸町田主丸 65-1 TEL 72-3191  
久留米市立田主丸中学校校長通信 校訓『忍耐』



## 未来を切り拓く「人間力」を身につけた生徒 「時・場・礼」の育成

絵：風の丘美術館 大野勝彦先生

3月11日金曜日、快晴の下、第50回卒業式を挙行了しました。177名の卒業生を送り出しました。今後も皆さんらしく夢に向かって活躍していくことを心から祈っています。おめでとうございます。

### ～読書感想文「かささぎ」入賞者～

久留米市学校図書館協議会による、読書感想文集「かささぎ」(第35号)が先日発行されました。これは、市内各小中学校の図書館教育担当の先生と学校司書の先生方が、応募数1064点の中から選定された作品集です。協議会会長の檜橋関子校長先生(篠山小)は、巻頭の言葉で、次のように書かれています。

読書感想文を書くということは、本を読んで感じたことや考えたことなどの心の動きを、言葉に置き換えていく作業です。そのことで、自分の思いを客観的に見つめ直すことができます。また、周りの人たちと共有することもできるようになるのです。その結果、自分の感じた思いによりふさわしい言葉に出会い、新たな思いに至るようになるかもしれません。つまり、読書感想文を通して、使用する言葉も抱く思いも豊かなものになっていくのです。

賞	学年	名前	題名
優秀賞	1年	郷原 彩乃	「お気に入りの一冊」
		後藤 滉惺	「杜子春」を読んで
佳作	2年	日吉 愛子	「あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。」と私
佳作	1年	今村 心春	「この本が私に教えてくれたこと」
		倉富 伽恩	「大好きな本」
	2年	木下 絢乃	「西の魔女が死んだ」を読んで

そして最後に、「この「かささぎ」からも自分のものの見方や考え方を深め、自分の人生をより豊かなものにしてほしいと思います。」と結んであります。

田主丸中学校からは、1、2年生の生徒が応募してくれていました。来年度も、どしどし応募してください。また、日ごろから図書館を利用し、本に親しんでください。

### ～寒い中ありがとうございました。花植え活動～

2月26日(土)、冷え込んだ朝を迎えました。PTA保健整備委員会の委員さんと先生たちで、プランターに花の苗を植え、生徒昇降口、玄関や校門付近に設置していただきました。

参加された皆さんが集中して効率よく作業していただいたおかげで、短時間で活動を終わることができました。卒業式に向けての飾りつけありがとうございました。また、花が咲き誇る頃が楽しみです。

花愛でる心もそだてよう！！

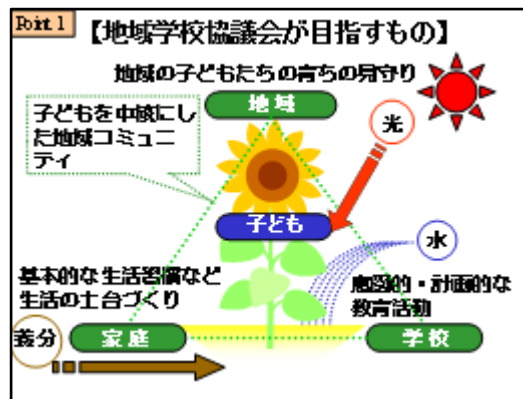


「地域学校協議会」から学校と保護者・地域への提言！

感染防止の3つの基本：①身体的距離の確保、②マスクの着用、③手洗い

第3回地域学校協議会を2月22日(火)午後3時から、約2時間にわたり開催しました。

本年度のしめくりとなる今回の地域学校協議会の中では、本校の自己評価に対する学校関係者評価と「本校への提言・意見」と「保護者や地域への提言・意見」をいただきました。その内容について紹介させていただきます。



●学習指導について（学校への提言・意見）

- ・授業参観等で生徒たちが落ち着いて学習に取り組んでいる様子を見ることができた。1・2年生は1クラス40人を超えていて教室が狭いように感じる。3年生になると体も大きくなるので、小学校のように35人学級にならないか。
- ・言語活動を重視した授業改善に取り組んで頂いている。コロナ禍で生徒同士の対話や人とのコミュニケーションが取りづらくなっている。今後とも感染防止対策を講じながら、先生方の工夫で、生徒たちに学習の場の提供をお願いしたい。
- ・定期考査前だけでなく、一年間を通して、家庭学習の定着と内容の充実を図ってもらいたい。

●生徒指導について（学校への提言・意見）

- ・生徒たちは、よく挨拶ができる。問題行動等の報告もないのだが、SNS上でのトラブルは学校も指導が難しいと思う。保護者と学ぶ規範意識育成講演会等に取り組んで頂きたい。

●地域との関係づくりについて（学校への提言・意見）

- ・コロナ禍で生徒たちが家にいる時間が長くなっている。それにより保護者のストレスも増えている。保護者同士や地域とのつながりをつくるPTA講演会や研修会を行い、保護者のケアをする取組が必要ではないか。（ヤングケアラーの問題についても質問が出ました。）

※最近いろいろな場面で話題になる「基礎・基本」。学習面だけでなく、生活面でも必要なことだという話題で盛り上がりました。「規範意識・誠実さ・勤勉さ・公正さ・責任感・自律心・忍耐力・感謝や思いやりの心など、挙げればきりがありませんが、これらがミックスされて人格が完成していくと思います。そのためには、若い時から教え、鍛えなければなりません。」

## 地域学校協議会の委員のみな様、1年間ありがとうございました。

### ～ NHKバリバラより 水平社宣言 100 年を記念して ～

『バリバラ～障害者情報バラエティ～』とは、NHK 教育テレビジョンで放送されている障害者をテーマにしたバラエティ・情報番組です。

放送日：2022年3月3日(1)「人間は尊敬すべきものだ」

第1話 過酷な部落差別があたりまえだった100年前に誕生した水平社宣言。人間は同情や哀れみの対象ではなく、尊敬すべき存在だと訴えた宣言の理念は、いまでも輝きを失っていない。番組では水平社誕生の歴史を通して、宣言の意義を考え、すべての人たちに熱と光を届ける！

放送日：2022年3月10日(2)「人の世に熱あれ 人間に光あれ」

第2話 被差別部落の人たちが、人間の尊厳を求めた全国水平社。一度は途絶えながらも受け継がれた理念とは？部落問題に限らず、すべての人びとに「熱と光」をと願った思いはどのように受け継がれ、世の中を変えていったのか？宣言の意義を読み解く。

この番組の最後に、バリバラのご意見番である玉木幸則(障害のある当事者・社会福祉士)さんが、次のような感想を述べられて、番組は終了しました。

この「水平社宣言」っていうのは全然色あせていないなって、これをやったらみんなが心地よく生きていけますなんてものはないと思う。たぶん差別っていわれる問題は、これからもなくなりはないと思うけれど、やっぱり気づいたときに「いま心地悪いわ」って言うていく、それを聞いていく。そして、どうやったら心地よくなるんやろっていうことを、みんな考えていくしかないやろなと僕は勉強した。